

REDD+ 推進民間活動支援事業（継続）

【平成31年度予算概算決定額 42,333（59,055）千円】

<対策のポイント>

我が国の民間企業等がREDD+を実施する際の技術的課題を解決するために必要な手法を開発するとともに、民間企業等による森林減少等の抑制に貢献する自発的取組事例を収集、分析し、これらの成果を普及します。

<政策目標>

- 地域レベルのREDD+活動を国レベルで適切に評価する手法を開発（1件[平成31年度まで]
- REDD+に参入する我が国の民間企業等の数の増加（約20団体[平成31年度まで]

REDD+とは、途上国の森林の減少や劣化を抑制し、また、森林の造成や再生を進めることで、温室効果ガスの排出削減や吸収の確保を図る取組。

<事業の内容>

1. 特定地域のREDD+の排出削減量を適切に評価する手法の開発

- 民間企業等が途上国内の特定地域でREDD+を実施する際の排出削減量を適切に評価する手法を開発します。

2. 対象地の条件に即した排出削減量の計測手法の開発

- 民間企業等による、①対象地の条件に応じて計測技術や機材等を適切に選択する基準の開発、②モニタリング計画の標準設計手順の開発をします。

3. 普及啓発活動

- 事業成果やREDD+に係る国際動向の普及のための技術セミナーや国際ワークショップ、調査マニュアルの作成を行います。

<事業イメージ>

技術開発

民間企業等による排出削減量を適切に評価する手法を開発



対象地の条件に即した排出削減量の計測手法を開発



普及啓発活動

- ・事業成果やREDD+の国際動向の普及のための技術セミナーや国際ワークショップの開催
- ・技術マニュアル等の出版



民間企業等によるREDD+活動等の促進

我が国の排出削減目標の達成に貢献

<事業の流れ>



【お問い合わせ先】 林野庁計画課海外林業協力室（03-3591-8449）